

人間社会科目シラバス

環境都市系プログラム 教育評価委員会

1. はじめに

環境都市系プログラムでは、下記のような学習・教育到達目標を掲げている。このうち、目標(C)では技術者倫理だけでなく、「工学が自然及び社会に及ぼす影響」について深く考察することができる、多面的な思考力を身につけることを目指している。そのため目標(C)には、人文系の科目群である人間社会科目（選択必修8単位）を関連づけている。これらの科目を通して、人類のさまざまな文化、社会と自然に関する知識と、それに基づいて適切に行動する能力を身につけてもらいたい。

このことを周知するため、本冊子を配布する。本冊子には、人間社会科目 24 科目のシラバスを記載している。内容はシラバス検索システムで閲覧できるものと同一だが、関連する学習・教育到達目標が目標(C)であることを明記している。

環境都市系プログラムの学習・教育到達目標

I. 幅広い教養と技術者倫理

- (A) <科学技術基礎>科学技術の共通基礎科目として数学・外国語・情報処理能力を習得する。
- (B) <自然科学>自然科学全般に関する広い知識を修得し、科学的思考能力を高める。
- (C) <技術者倫理>工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する。

II. 基礎的学理・専門知識・応用能力

- (D) <主要専門基礎>主要専門科目の基礎を身につける。
- (E) <自己学習・応用能力>演習を通じて、自己学習の習慣を身につけ、応用能力を高める。
- (F) <チームによる実体験>実験・実習を通して現象の理解を深めるとともに、チームワーク能力を身につける。

III. 社会に貢献できる技術者としての素養

- (G) <コミュニケーション能力>説明責任を果たすためのコミュニケーション能力を習得する。
- (H) <社会基盤整備の応用技術> 社会基盤の整備に対する基本的理論と応用的な技術を習得す
- (I) <デザイン能力>自ら問題を発見し、調査・分析・評価・提案を行うことにより問題を解決する能力を身につける。

授業科目名	日本文化論 Japanese Culture Studies	時間割番号	0309
担当教員名	山本 いずみ		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,KZ,ME,EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 火曜1-2限		

授業の目的・達成目標

民族・地域が異なれば文化も異なるが、それぞれの文化は孤立した状態で存在することは難しい。日本文化も、古来から多くの異なる文化の影響を受けながらも、その独自性を保ってきた。本講義では、特に言葉(日本語)に視点を置き、日本語の中に入り込んで来た外来の要素について考える。文化と文化が接した場合、そこには常に接触による交流が生じ、多くの異文化(外来の要素)が入り込んで来る。日本語は、そのような要素をどのように吸収し、消化して、我が物として来たのだろうか。具体的な資料に触れながら、その概略を理解することを達成目標とする。資料は通時的に、ほぼ古い順に提示し、考察対象は文字から単語、文体へと広がっていく。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

①登録およびガイダンス②日本語を記録するための工夫1:文字による記述の始まり③日本語を記録するための工夫2:書きやすさの工夫1④日本語を記録するための工夫3:書きやすさの工夫2⑤ひらがなの誕生⑥カタカナの誕生⑦語種と表記の関係:単語の出自を探る⑧外来要素の取り入れ1:キリシタンのことば⑨外来要素の取り入れ2:蘭学の影響⑩外来要素の取り入れ3:かわらばんから新聞へ⑪外来要素の取り入れ5:戯作から小説へ⑫外来要素の取り入れ4:文明開化の理工系用語⑬翻訳がもたらしたものの1:ふしぎな話を記述する⑭翻訳がもたらしたものの2:名探偵登場⑮達成度の確認⑯解説および総括

成績評価の方法

授業の進度により提出する小タスクおよび達成度確認テスト、受講態度等により評価する。

成績評価の基準

大学の基準に従う。

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

身近な日本語や、それに関連する現象に対する知的好奇心を常に抱くこと。理工系にとっては疎遠になりがちな言葉に対する興味を喚起するように留意して授業を進めたい。授業を通じ、自己表現の基礎となる日本語について考える時間を持つように希望する。

教科書

なし。授業の進度に従い、プリントを用意する。

参考書

特になし。授業の進度に従い、適宜提示する。

オフィスアワー

水曜7・8限。その他の時間も、適宜相談に応じる。

授業科目名	異文化理解 Cross Cultural Studies	時間割番号	0311
担当教員名	萩尾 生		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,KZ,ME,EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 火曜1-2限		

授業の目的・達成目標

◎「文化」という単語から否定的なイメージを喚起するひとは、少ないのではないのでしょうか。しかし、グローバリゼーションなる用語が文字通り地球上を席卷する今日、世界各地で起きている重大な係争の多くが、「文化衝突」や「文化摩擦」などと形容されるように、相異なる文化が接触することに起因しています。文化は私たちの営為を決定づける価値観と深く結びついているからです。

◎この授業においては、文化間の価値観の相克や葛藤を意識化するとともに、そうした問題の諸相に関する理解を深め、得られた知見を自らのことばで説明できるようになることを、主たる目的とします。

◎また、本授業においては、受講生の文化に対する問題意識を高めると同時に、単に自文化の視座から他文化の異質性を眺めるだけでなく、自文化の中における異質性、あるいは他文化の視座から見た自文化の異質性を自ら問いかけ、自分の意見を論理的に述べるができるようになることを目指します。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

◎おおむね、以下のテーマに沿って、授業を進めていきます。

【Ⅰ. 文化とは何か】

第1回:導入
第2回:文化と自然
第3回:文化と文明

【Ⅱ. 異文化との接触】

第4回:移動と境界
第5回:自他のイメージ
第6回:異文化に対する態度(i)
第7回:異文化に対する態度(ii)

【Ⅲ. 普遍性と差異】

第8回:多文化主義の両義性(i)
第9回:多文化主義の両義性(ii)
第10回:ディアスポラ
第11回:クレオール

【Ⅳ. 異文化としての日本】

第12回:日本とは
第13回:日本人とは
第14回:日本語とは

【Ⅴ. 総括】

第15回:総括と展望

成績評価の方法

◎小テスト(複数回実施)、レポート(複数回実施)、授業参加の3つにより評価します。

成績評価の基準

◎小テストでは、授業内容の理解度を評価します。レポートでは、授業内容に関連した主題について、自らの考えを論理的に構築・展開していく力を評価します。授業参加では、授業中に行われる質疑応答や議論に対して、主体的かつ積極的に発言していく姿勢を評価します。

◎小テスト3割、レポート4割、授業参加3割を目安とし、全体で6割以上をとった受講生が、単位認定対象者となります。

◎授業への出席は当然のことですから、いわゆる「出席点」というものではありません。正当な理由のない欠席、遅刻、早退は減点の対象となります。また、主体的かつ積極的な授業参加が求められますので、形式的に出席するだけでは良い評価に繋がりません。

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

◎毎回授業の最初に、前回までの授業内容に係る質疑応答を実施しますので、前回までの授業内容をよく復習しておいてください。

◎授業の中で紹介したり配布したりする文献や資料を積極的に活用するほか、日常的に国内外の各種メディアに目を通して、世界の時事情勢に触れる習慣をつけておいてください。詳しくは授業の中で説明します。

教科書

◎教科書は指定しません。
◎授業の中で紹介したり配布したりするさまざまな文献や資料を積極的に活用することが期待されます。

参考書

◎参考書は指定しません。
◎授業の中で紹介したり配布したりするさまざまな文献や資料を積極的に活用することが期待されます。

オフィスアワー

◎原則として、火曜日の12時00分～12時45分。
◎これ以外の時間帯を希望する場合は、事前にメールにより相談してください。

授業科目名	宗教文化論 Religion and Culture	時間割番号	0302
担当教員名	川橋 範子		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,KZ,ME,EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 火曜1-2限		

授業の目的・達成目標

授業の目的 「宗教への無関心」は現代日本の若者に見られる一般的な傾向である。外の人に日本の宗教についてたずねられたとき、「日本には宗教は存在しない」とか「日本人は非宗教的である」などと答えてしまったことはないだろうか。この授業ではわたしたちが単なる社会的習慣だと思い込んでいた日本の宗教文化を新たな眼差しで見直し、日本に複合的に存在する様々な宗教伝統が文化的エートスを形成し、個人の人生哲学を意味付けていることを探っていく。

達成目標 宗教が生活と不可分に密着している社会はまだたくさんある。グローバル化が進む中、当然その様な他文化の人々との出会いも増えてくる。ふだん宗教とかかわりなく生きていると思っている私たちも実は日常生活の中の宗教の多様性に気づかないだけなのかもしれない。「宗教」について考えるエクササイズを行っていく。

科目の達成目標 宗教と社会の関係を幅広い角度から説明できる。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

1から4週 宗教と宗教学、日本の宗教伝統
5から7週 宗教現象のフィールドワーク、女性の宗教体験
8から11週 ファンダメンタリズム、現代日本人と新宗教、現代の祖先祭祀
12から15週 新しい宗教性の可能性、レビュー・セッション、レポート課題提示

成績評価の方法

学期末レポートで評価する。

成績評価の基準

授業の内容を踏まえた上で当該課題についての自己の意見を述べられるかどうか。

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

積極的に授業に参加することを望む。日ごろからメディアの中での宗教関連の事象に関心をはらっておくこと。

教科書

「本当にわかる宗教学」(日本実業出版社)井上順孝著

参考書

講義において随時指示する。

オフィスアワー

火曜日3:20～4:00

授業科目名	産業文化論 Industry and Culture	時間割番号	0301
担当教員名	高木 勇夫		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,KZ,ME,EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 火曜1-2限		

授業の目的・達成目標

名古屋・東海地域で育まれた産業の特徴を、前近代と近現代での展開を対比しつつ詳述する。まず当該地域の自然的・地理的環境から説き起こし、ついで各論として、古代・中世の交通事情、近世の産業発展、近代における工業化の課題、そして現代の国際経済に巻き込まれつつも大きな存在感を発揮している業種や企業の現状と将来性について討議する。その過程で垣間見られるエンジニアとしての努力と自覚のありようも問題とされる。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

- ①受講登録とオリエンテーション, ②モノづくりが文化の域に達する時と所,
③名古屋・東海のトポス, ④清洲から名古屋へ(1300-1650), ⑤伝統産業(1650-1850), ⑥初期工業化の課題(1850-1910), ⑦博覧会都市(1910-2005), ⑧豊田とトヨタ(1850-2000),
⑨復興から高度成長へ(1950-1979), ⑩パブル経済とその崩壊(19800-2000),
⑪近代建築(1870-2000), ⑫エネルギー開発(1880-2000), ⑬交通網整備(1880-2000),
⑭特論「名古屋の街道を行く」, ⑮全体のまとめ

成績評価の方法

期末テストの結果および講義時間中の質疑応答などを総合的に判断する。

成績評価の基準

期末テストの結果および講義時間中の質疑応答などを総合的に判断する。

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

15回の講義のうち任意の10回分の出席を出席管理システムによって確認し、問題がある場合は個別に指導する。関連文献の学習とあわせ、日常の取組を重視する。

教科書

使用しない。

参考書

各回、印刷物を配布する。

オフィスアワー

火曜日 16時30分～17時00分

授業科目名	技術文明論 Technology and Civilization	時間割番号	1308
担当教員名	高木 勇夫		
学科・年次	工学部第一部 2年次 EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 月曜3-4限		

授業の目的・達成目標

19世紀にドイツで法制史・社会経済史として発展した歴史学は20世紀のフランスで社会史として再構成された。同国のアナール学派は個人の感覚までも問題とした。本講はフランス歴史記述の伝統を身体史としてうけつぎ、個人の身体に反映された歴史の課題を論じる。前半の「普遍的な<からだ>」では、王朝時代のフランスに由来する世界標準をとりあげ、後半の「公共的な<からだ>」では、市民革命後に国民史の形をとった近代の課題を問う。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

- ①受講登録とオリエンテーション
②普遍的な<からだ>; 宮廷バレエから市民バレエへ
③普遍的な<からだ>; バリ劇場を通じて見た演劇史
④普遍的な<からだ>; ジムナストの系譜と路上のパフォーマンス
⑤普遍的な<からだ>; 下着とジェンダー
⑥普遍的な<からだ>; 身体史としての女性史, ⑦レポート課題
⑧公共的な<からだ>; 様式建築の公共的役割
⑨公共的な<からだ>; 近代的な刑務所の仕組みと監獄論争
⑩公共的な<からだ>; 世界的流行病(パンデミー)の時代
⑪公共的な<からだ>; バリの万国博と英米のそれとの比較
⑫公共的な<からだ>; フランスの保護国モロッコの運命, ⑬レポート課題
⑭身体史特論; 木綿の世界史, ⑮身体史特論; 蒸気機関の歴史/全体のまとめ

成績評価の方法

5講目ごとのレポートと期末テスト、講義時間中の質疑応答などを総合的に判断する。

成績評価の基準

5講目ごとのレポートと期末テスト、講義時間中の質疑応答などを総合的に判断する。

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

15回の講義時間のうち、任意の10回分の出席を確認する。毎回の講義で紹介する関連文献の学習とあわせ、日常の取組を重視する。

教科書
特別に編集した冊子を配布する.
参考書
高木勇夫『〈からだ〉の文明誌』叢文社.
オフィスアワー
火曜日 16時30分～17時00分

授業科目名	現代社会論 Contemporary Society	時間割番号	0310
担当教員名	齋藤 典子, 川橋 範子		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,KZ,ME,EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 火曜1-2限		

授業の目的・達成目標

【授業の目的】現代社会は、グローバル化したことで多様性を極め、様々な社会問題が生じてきた。本授業は、現代社会に潜む格差や不平等、差別に焦点を当てる。また、社会現象のみを捉えるだけでなく、格差や差別を生みだす社会構造を教育、労働、文化、福祉、ジェンダーの視点から分析・考察する。さらに社会の一員として、あるべき社会形成の方向性について学ぶ。なお、学生の主体的な参加を促すため、グループ毎のディスカッションやプレゼンテーションを行う参加型の授業を展開する。【達成目標】1. 現代社会に起こる様々な問題に対応できる基礎力を身につける。2. 社会学の基礎概念と共に社会を分析するための社会学理論のエッセンスについて習得する。3. 自己及び他者社会に関心を持ち、自己の考えを伝え、他者の考えを傾聴することで、相互理解を深める。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

第1回 ガイダンス (授業の概要とすすめ方)第2回 社会学とはどんな学問か? 社会学の基礎概念を知る第3回 私たちの社会とは? 家族とは? 調査データから社会変動を知る第4回 格差社会を生きる(1) 雇用と世代間格差・男女格差第5回 格差社会を生きる(2) 教育の機会不均等第6回 格差社会を生きる(3) 若者と貧困 正規雇用と非正規雇用(派遣労働者・パートタイム労働者)第7回 格差社会を生きる(4) 高齢者と貧困 漂流する高齢者第8回 格差社会を生きる(5)まとめ 格差を是正するためには第9回 権力と差別(1) 労働とジェンダー 第10回 権力と差別(2) 恋愛とジェンダー デートDVとは? 第11回 権力と差別(3) 障がいを持って生きること 障害者と雇用 第12回 私たちの内なる偏見と差別意識と向き合う(1) ネットカルチャーと排外主義 ヘイトスピーチ第13回 私たちの内なる偏見と差別意識と向き合う(2) ネットカルチャーと排外主義第14回 学期末テスト第15回 グループディスカッション第16回 プレゼンテーション

成績評価の方法

平常点(授業時のリアクションペーパーなど)20%, グループワークへの参加貢献度20%, 学期末テスト60%で評価する。

成績評価の基準

授業の目的・達成目標を基準とする。

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

日頃、格差問題や差別問題などに関する議論について新聞等を通して、チェックしておくこと。すくなくとも参考図書のうち1冊を読むこと。

教科書

随時、プリントを配布

参考書

森岡清志『社会学入門—基礎概念とその展開—』NHK出版2012
友枝敏雄・竹沢尚一郎他『社会学のエッセンス—世の中のしくみを見ぬく—』有斐閣 2008
江原由美子『ジェンダー秩序』勁草書房2001/ 橋木俊詔『「機会不均等」論』PHP 2013

山田昌弘『なぜ日本は若者に冷酷なのか』東洋経済社 2013
 竹本修三・駒込武(編)『「偏見・差別・人権」を問い直す』京都大学学術出版会2007

オフィスアワー

授業時間前後に対応する。

授業科目名	共生社会論 Human Coexistence	時間割番号	0306
担当教員名	永渕 康之		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,KZ,ME,EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 火曜1-2限		

授業の目的・達成目標

従来、共生社会論は多文化共生社会の構築を目的としてきた。現在、多文化共生の重要性は不変だが、自然との共生すなわち環境問題の解決がより前景化している。環境問題には一国主義にとどまることなく地球規模の取り組みが不可欠であり、そこにありうべき国際的な共生社会の模索が問われているのである。現実には、国際的合意の必要性が逆に困難さをまねき、問題解決への枠組み作りを遅らせている。本講義では、この困難さを正面から取り上げ、世界規模での環境問題への取り組みを再検討する。講義は二部から構成されている。第一部では、国際的合意形成の最も大きな障害となっている開発にともなう経済成長至上主義がなぜ世界化したのかを第二次大戦以後の国際状況を検証しながら考察する。第二部では、気候変動枠組条約成立過程とその後の経過を追跡することで現在の国際的合意の到達点を確認し、問題点を洗い出す。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

1 受講登録 講義目的説明2 思想としての開発とその始まり3 冷戦状況と開発思想の世界化4 開発の反省と新しい取り組み5 新自由主義と成長主義の限界6 映画「バトル・イン・シアトル」上映7 再生産される開発思想8 前半レポート試験9 環境問題の国際的取り組みの始まり10 映画「不都合な真実」上映11 気候変動枠組条約12 京都議定書13 ポスト京都議定書14 現在の取り組みとまとめ15 後半レポート試験16 レポートの検討

成績評価の方法

論述形式の2回のレポートを実施し、その結果を総合して判断する。

成績評価の基準

以下の3点を評価基準とする。1)授業の内容把握2)論述の妥当性3)論述の説得力

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

私語は厳禁する。

教科書

講義内で指定する。

参考書

講義内で指定する。

オフィスアワー

毎週火曜日12時から12時30分

授業科目名	情報社会論 Information Society	時間割番号	0323
担当教員名	伊藤 孝行, K J Lin		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,KZ,ME,EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 火曜3-4限		

授業の目的・達成目標

本講義では、現代社会の中核的技術となっている最先端情報技術について、情報工学の学生はもちろん、ほかの学科の学生にもわかりやすく解説する。トピックとしては、計算機、アルゴリズム、インターネット、WWW、人工知能、マルチエージェントシステム、Collective Intelligence、社会コンピューティング、メカニズムデザイン、Internet of Things、センサーネットワーク、発想法、などである。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

1. 概要
2. 計算機
3. アルゴリズム
4. インターネット
5. インターネット
6. WWW
7. 検索エンジン
8. Google
9. 人工知能
10. 人工知能
11. マルチエージェントシステム
12. ゲーム理論
13. メカニズムデザイン
14. 社会コンピューティング
15. オープンソース・オープンガバメント
16. Internet of Things
17. Collective Intelligence
18. 発想法

など

成績評価の方法

宿題:30%, 中間試験:30%, 期末試験:40%, など総合的に判断する。

成績評価の基準

出席, クラスへの貢献度, 理解度など

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

なし

教科書

参考書

オフィスアワー

月曜日の9時から10時. 予約が必要 (ito@nitech.ac.jp)

授業科目名	日本国憲法 Japanese Constitution	時間割番号	0312
担当教員名	小林 正嗣		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,KZ,ME,EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 火曜1-2限		

授業の目的・達成目標

授業の目的: 授業の目的: 日本国憲法を「総論」「人権」「統治」の三つの観点から検討していくことにより、その全体像およびそれが持つ理念を理解することを目的とする

達成目標: 日本国憲法の全体的構造を総合的に理解することを目標とする

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

- 1 ガイダンス
- 2 大日本帝国憲法の概括
- 3 日本国憲法とは何か
- 4 包括的基本権と法の下での平等
- 5 精神的自由権(内心の自由)
- 6 精神的自由権(表現の自由1)
- 7 精神的自由権(表現の自由2)
- 8 経済的自由権
- 9 人身の自由と国務請求権
- 10 社会権
- 11 基本的人権の総括
- 12 国会
- 13 内閣
- 14 裁判所
- 15 平和主義
- 16 試験

成績評価の方法

期末に行われる試験(100点満点)で評価する

成績評価の基準

期末に行われる試験の解答の正否によって評価する

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

特に無し

教科書

特に指定しない。なお、毎回の講義においてレジュメを配布する

参考書

適宜講義の中で参考となる書を提示する

オフィスアワー

非常勤講師のため、授業時間前後に対応する。

授業科目名	現代政治論 Contemporary Politics	時間割番号	0313
担当教員名	安武 裕和		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,KZ,ME,EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 火曜1-2限		

授業の目的・達成目標

授業の目的:現代政治を理解する上での(主に政治制度および政党システムについての)基礎的な知識を習得することを目的とする。達成目標:現在の民主主義諸国における様々な政治システムを比較することで、それぞれの制度のメリット・デメリットなどを把握した上で、現在の日本政治の持つ独自性およびその問題点などを理解するための視野を広げることを目指す。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

1 政治とは何か?～社会集団における統一的意思決定 2 国家の意思決定構造～民主主義体制と非民主主義体制～3 行政府と立法府の関係～二元代表制と議院内閣制～4 立法府の構造～一院制と二院制～5 中央と地方の関係～単一国家と連邦制国家～6 国家主権と国際機構の関係～国家連合と超国家機関～7 選挙方式の基本概念～多数代表制と比例代表制～8 選挙方式の複合的運用～複数の制度の複合的運用～9 現代における政党の役割～社会と政治を繋ぐ存在～10 政党の基盤となる社会集団～民族・宗教・地域主義～11 政党の基盤となるイデオロギー～左右軸の意義と限界～12 戦後日本政党史1～55年体制の成立と動揺～13 戦後日本政党史2～細川政権以降の政界再編～14 戦後日本政党史3～小泉政権以降の諸政党の動向～15 まとめ～本講義を通じて得られた知見の確認～16 試験

成績評価の方法

毎回の講義の開始時に受講者に「コメント用紙」を配布する。受講者は講義内容に対する感想・疑問・反論などをコメント用紙に書いて提出し、その内容に応じて0～5点の「平常点(Y)」を得る。それに加えて第16回の講義では100点満点の期末試験(X)を実施した上で、最終的には「 $X+(100-X) \times Y \div 100$ 」で評価点を算出する(ただし、試験に欠席した場合は「0点」とする)。なお、期末試験は全てのレジュメ・参考書・計算機の持込を可とする。また、レポート課題などは一切課さない。

成績評価の基準

講義内容の理解度を主な基準としつつ、文章構成力(分かりやすい日本語で自身の主張をまとめる能力)なども加味して最終的な評価点を決定する。

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

講義中は、受講者の理解度の確認および眠気防止のために、頻繁に受講者に対して口頭質問をおこなう。また、レジュメは空欄付きで配布するので、その空欄部分の説明を聞き漏らさないように注意すること(基本的に板書はしない)。なお、欠席した者にはその回のレジュメをPDFファイルで送ることは可能だが、空欄は自力で調べて埋めること(どうしても分からなかった部分だけは、直接質問に来れば応答する)。その他の詳細は第1回の講義中に説明する。

教科書

特に無し。

参考書

講義中に単元ごとに紹介。

オフィスアワー

非常勤講師のため、日頃は名工大内にはいないので、講義終了直後に直接相談に来るか、あるいは darkmist@pop21.odn.ne.jpまで連絡すること。

授業科目名	地域経済論 Regional Economics	時間割番号	0326
担当教員名	徳丸 宜穂		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,KZ,ME,EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 火曜3-4限		

授業の目的・達成目標

【授業の目的】

社会の富(＝豊かさ)が生産・分配される「しくみ」を考え、現実の経済が抱える問題を分析するのが、「経済学」という学問の原点である。日本経済が多くの問題を抱えていることは承知の通りだが、それは私たちの眼前にある中部経済についても同じことである。そこで、本講義の第1の目的は、経済学という「眼」から見て、現在の日本経済・中部経済がどのような現状にあり、いかなる課題を抱えているのかを理解することである。講義では、そのために必要な知識を体系的に与え、分析能力を養うことにしたい。

第2の目的は、日本経済・中部経済という身近な題材により、工学系学生にとっても最低限必要な「現代経済入門」とすることである。

本講義は、日本経済論に比重を置いていることに留意されたい。なぜならば、今日の地域経済に現れている問題の多くは、日本の経済システムに端を発する問題でもあるからである。

【達成目標】

- (1) 日本経済・中部経済の現状と課題を理解できるようになること。
- (2) 経済を分析する基礎的な能力を身につけること、具体的には新聞の経済面や統計数字を理解できるようになること。
- (3) 経済、ひいては社会というものに対する基礎的なリテラシーを身につけること。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

以下の順序で講義を行う。なお、講義回数と数字は連動していないことに注意されたい。また順序・内容には若干の変更があり得る。

1. イントロダクション: 現在の経済問題にかんするケーススタディ
2. 日本の経済システムの「見取り図」
3. 日本の企業システム
4. 日本の雇用システム
5. 日本の金融システム
6. 日本の企業間関係
7. 日本の財政・社会保障
8. グローバル化の中の日本経済・中部経済／日本の中の中部経済
9. 中部経済の「見取り図」
10. 中部経済の産業: 過去と現在
11. 富を生む基盤としての地域経済: 産業集積・産業クラスターとイノベーション
12. 地域経済の理論

成績評価の方法

レポートおよび試験で評価する。

成績評価の基準

レポート40点、期末試験60点。
試験は、講義内容の理解度を評価する。

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

高等学校までの社会科で「暗記はこりこりだ」と思っている学生には、「社会科学＝暗記」という誤解を払拭して講義に臨んで欲しい。経済現象・社会現象を理解する上で、(1)それがなぜ発生したのかという論理(＝「理屈」)をはっきりさせることと、(2)その論理が現実と正しく合っているかどうかを検証することが大事だということを、強調したい。

教科書

中原ほか編『日本経済の常識』(ナカニシヤ出版)ただし仮題。4月出版予定。

参考書

八木紀一郎・宇仁宏幸『図解雑学 資本主義のしくみ』(ナツメ社)
服部茂幸『新自由主義の帰結』(岩波新書)
R.ドーア『金融が乗っ取る世界経済』(中公新書)
宇仁・山田・磯谷・植村『金融危機のレギュレーション理論: 日本経済の課題』(昭和堂)
伊東光晴『ケインズ』(岩波新書)

オフィスアワー

初回講義時に連絡する。

授業科目名	公共政策論 Public Policy	時間割番号	1312
担当教員名	上原 直人		
学科・年次	工学部第一部 2年次 EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 月曜3-4限		
授業の目的・達成目標			
<p>「公共政策」とは、主に、国や地方自治体によって行われる政策を意味する。本講義では、公共政策をめぐる現状と課題について学ぶ。公共政策について、その体系、公益法人、公立施設運営の多様化、市民参加という視点から自分の見解を述べるができるようになることが目標である。視聴覚教材も使用する。</p> <p>関連する学習・教育到達目標： (C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)</p>			
授業計画			
<p>①1週～4週：授業の概要・進め方・方法についての説明。公共政策の体系(公共性と国家、日本の公共政策の特質、公共事業、福祉国家、社会保障)について学ぶ。【達成目標1:公共政策の体系を説明することができる】②5週～7週：公益法人、独立行政法人について学ぶ。国立大学の独法化についても取り上げる。【達成目標2:公益法人、独立行政法人の特徵と課題について説明できる】③8週～11週：公立施設運営の多様化(NPO、指定管理者制度)について学ぶ。文化施設、生涯学習施設の事例も取り上げる。【達成目標3:NPO、指定管理者制度について、その特徴と課題について説明できる。】④12週～15週：市民参加と公共性(住民投票とその事例、討議デモクラシー、公共施設建設運営への市民参加とその事例)について学ぶ。【達成目標4:住民投票の意味、討議デモクラシーの意味、各自治体での市民参加の現状を説明できる】</p>			
成績評価の方法			
期末試験と平常点で合計100点満点とする。欠席は5回まで認める。			
成績評価の基準			
合計60点以上を合格とする。			
履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示			
(1)公共政策は様々な学問領域が交錯する領域であり、幅広い視点から公共政策について考える姿勢が重要である。(2)履修するにあたっての要件は特にないが、日頃から、公共政策に関して、新聞等を通して、チェックしておくことを求める。			
教科書			
レジュメ、資料を配布するので、教科書は使用しない。			
参考書			
随時、紹介する。			
オフィスアワー			
月曜日12時～13時。それ以外でも事前に相談があれば随時可能			

授業科目名	科学と哲学 Science and Philosophy	時間割番号	0304
担当教員名	瀬口 昌久		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,KZ,ME,EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 火曜1-2限		
授業の目的・達成目標			
<p>「科学」と「哲学」が歴史的にどのように関係しあって発展してきたかを学び、科学技術化された社会をよりよく生きるためには、科学的知識とともに論理的な思考方法と倫理的な考え方の基礎となる哲学的な知恵と呼ばれるものが必要であることを理解する。</p> <p>関連する学習・教育到達目標： (C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)</p>			
授業計画			
(1)論理的思考とは何かを学ぶ			
①21世紀の世界の現実からの出発			
②科学技術のはじまり——古代世界の技術水準			
③古代の技術の発展と社会			
④ラッセルのパラドクスとタイプ理論			
⑤論理学と哲学			
⑥科学とは何か——デカルトの方法論			
⑦帰納法と法則の発見——ベーコン、ニュートン、ヒューウェル			
⑧カール・ポパーの反証主義と統計学や確率論の意義			
(2)心身問題と現代科学技術 の関係を考える			
⑨感覚経験と懐疑主義			
⑩心身二元論と心身問題			
⑪科学技術が生み出す哲学や倫理の課題(1) サイボーグ医療			
⑫科学技術が生み出す哲学や倫理の課題(2) 脳神経工学と脳神経倫理学			
⑬ロボットは心をもちうるか——チューリングテストと中国語の部屋			
⑭コンピュータ機能主義とクオリアや志向性の問題			
⑮数学的世界像と人間の知性			
成績評価の方法			

ワークシート 15 点, レポート 25 点, 小テスト 60 点の合計 100 点で評価する。

成績評価の基準

講義で解説する哲学と科学の歴史を理解し, 帰納法や反証主義などの考え方を正しく把握し, 自分で明解な説明ができるようになってきているかを基準にする。

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

毎回, 出席をしてその日のワークシートを提出すること。自分で問題を考え, 問いの立て方を学ぶように心がける。

教科書

毎回, 資料を配布する。

参考書

『科学哲学入門』(内井惣七)世界思想社

オフィスアワー

火曜日と水曜日午後4時20分から午後5時20分または事前に予約

授業科目名	科学技術史 History of Science and Technology	時間割番号	0303
担当教員名	川島 慶子		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,KZ,ME,EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 火曜1-2限		

授業の目的・達成目標

目的

宇宙論の歴史について学習する。私たちの世界はいかに構成されているのか, という疑問にたいし, 人類は長い歴史の中でさまざまな考察を重ねてきた。本講義では主に西洋の宇宙論の変遷を中心として, 近代科学がどのようにして誕生したのかを理解することを目的とする。

達成目標

現在のわれわれは太陽系のようなシステムが多数存在する高大な宇宙を当然視しているが, これは古代に存在した考え方ではない。古代の宇宙論の多くは, 現在よりもっとちいさな世界を想定していた。そこにどういう意味があったのか, こうした, 現在とは異なる世界観を自分のものとして理解することで, 現在のみの価値観を唯一とするような狭いものの見方を転換し, 特にガリレオの天体理論とその受け取られ方を通して, さまざまな価値観の存在を認識できるようになることを目標とする。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し, 技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

1. オリエンテーション
2. 古代ギリシャの宇宙論
3. 古代ギリシャの宇宙論
4. 中世・ルネサンスの宇宙論
5. 解説と小テスト
6. 科学革命とガリレオの理論
7. 科学革命とガリレオの理論
8. ガリレオ以外の地動説論者:コペルニクスとケプラー
9. 解説と小テスト
10. ガリレオ裁判の意味1
11. ガリレオ裁判の意味2
12. ガリレオ裁判の意味3
13. デカルトの宇宙論
14. ニュートンの宇宙論
15. 解説と小テスト

※ 授業の進行状態により、予定を変更することがある

成績評価の方法

小テストとレポートで評価する。

成績評価の基準

以下の2点を特に重視して評価する。1. 授業の科学的内容を、その時代の社会状況に即して理解しているか。2. 自分の言いたいことを「文章」として表現することができるか。

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

テストの際ノートと教科書の持込を許可する。ただし重要なのは教科書よりノートなので、各自ノートの管理に気をつけること。レポート課題のために、人間社会セミナーへの出席を勧めることがある。

教科書

特になし。

参考書

[ジェームズ・マクラクラン『ガリレオ・ガリレイ』大月書店](#)

オフィスアワー

火曜日 16時20分から17時

授業科目名	科学情報論 Science Literacy	時間割番号	1310
担当教員名	川島 慶子		
学科・年次	工学部第一部 2年次 EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 月曜3-4限		

授業の目的・達成目標

目的

現代は科学技術抜きにしては我々の生活は成立しない。にもかかわらず、科学に対する我々の認識は非常にあいまいなものがある。日本において若者の理科ばなれ現象に顕著なように、科学技術の結果は享受しても、その根本の科学とは、技術とは何かという問題について、真剣に考える機会が失われ、結果として「科学技術」に対する盲目的な信仰を生んでいるのが現状である。本講義では、科学の意味についてさまざまな角度から検証し、自分達の生活と科学がどのように関わっているのかを考えることを目的とするものである。

達成目標

本講義では、1903年度と1911年度のノーベル物理学賞、化学賞受賞者であるマリー・キュリーの発見した放射能の問題をさまざまな角度から検証する。そしてこの講義を通して、科学知識の意味、科学と社会、科学とジェンダー、放射性物質に対するイメージの変化などについて、放射能以外の科学的主題についても、学生が自分自身の意見を述べるようになることを目標とする。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

1. オリエンテーション
2. マリー・キュリーとその時代(1)
3. マリー・キュリーとその時代(2)
4. ジェンダーと科学(1)
5. ジェンダーと科学(2)
6. ジェンダーと科学(3)
7. 小テストと解説
8. 放射能と大衆社会(1)
9. 放射能と大衆社会(2)
10. 放射能と大衆社会(3)
11. 小テストと解説
12. マリー・キュリーとノーベル賞(1)
13. マリー・キュリーとノーベル賞(2)
14. マリー・キュリーとノーベル賞(3)
15. 小テストと解説

※ 授業の進行状態により、予定を変更することがある

成績評価の方法

レポートと小テストで評価する。

成績評価の基準

以下の二点を特に重視して評価する。1. マリー・キュリーとその時代の科学を、そのときの社会状況に即したものと理解しているか。2. 自分の言いたいことを、「文章」として表現できているか。

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

テストの際ノートと教科書の持込を許可する。ただし重要なのは教科書よりノートなので、各自ノートの管理に気をつけること。レポート課題のために、人間社会セミナーへの出席を勧めることがある。

教科書

川島慶子『マリー・キュリーの挑戦』トランスビュー(2010)

参考書

高木仁三郎『マリー・キュリーが考えたこと』岩波書店

オフィスアワー

火曜日 16時20分から17時

授業科目名	人間行動学 Human Behavior	時間割番号	1314
担当教員名	伊藤 亮		
学科・年次	工学部第一部 2年次 EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 月曜3-4限		

授業の目的・達成目標

授業の目的:現代社会における生活の中では、人間は動物から大きくかけ離れた存在のように感じます。しかし、ヒトは動物の一種であり、行動は長い進化の結果です。この講義では、人間の行動の本質を生物学的な進化と動物行動学の視点から理解することを目的とします。達成目標:1.生物学的な進化の概念を正しく理解する。2.行動に遺伝と環境が及ぼす影響を正しく理解する。3.進化と動物行動学の知識を使って、人間の行動の裏にある本質を推測できるようになる。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

1 イントロダクション:人間行動学を生物と進化から読み解く意義2 遺伝:遺伝とゲノムに関する最新の生物学的な解釈3 行動と遺伝:遺伝か学習か4 進化:進化の概念の理解5 行動の進化:行動のメカニズム、発達、機能から進化を推測6 人類の進化:ヒトの特徴と人類の進化の歴史7 血縁淘汰:包括適応度の理解8 性:生物学的性の理解9 配偶者選択:性的な魅力と進化10 利他行動の進化:利己的な利他行動11 社会行動の進化:利他行動の進化を元に社会行動の進化を理解12 コミュニケーション:ヒトのコミュニケーションの進化を理解13 文化:文化の形成と維持14 ヒトの心:心の設計と環境15 まとめ:進化生物学から見た人間行動

成績評価の方法

期末レポートと毎回の授業後に提出するレポートの総合点で評価する。配分は、期末レポートを70%、授業後のレポートを30%とする。授業では毎回、簡単な問題を出題する。その解答やコメントを記入して提出したものを、授業後レポートとする。

成績評価の基準

授業で得た知識を自分のことばで表現し、正しく応用することができるかどうかを評価する。

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

適宜指示する。

教科書

使用しない。

参考書

「心と行動の進化を探る 人間行動進化学入門」五百部裕・小田亮 編著 朝倉書店

オフィスアワー

講義時間の前後(非常勤講師控室)。

授業科目名	生物と環境 Life and Environment	時間割番号	0324
担当教員名	増田 理子		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,KZ,ME,EE,OS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 火曜3-4限		

授業の目的・達成目標

授業の目的)

自然の英知を学ぼう

工学が自然および社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する。

生物学一般の基礎知識を身につけることによって、今後、工学分野で要求されている環境問題を理解するための土台をつくる。

達成目標)

1. 生物の仕組みを理解できる
2. 地質的な生物進化を理解できる
3. 工学と生命の相互関係を理解できる
4. 現在の環境問題について理解できる

関連科目)

理解の助けとなる科目 なし

学んだ内容を用いる科目 環境生態学, 技術者倫理

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

1. 生物と生命現象 ウィルスから人まで
2. 遺伝暗号 DNA暗号とRNA暗号
3. 生物内の調整機構 ホルモン, 免疫抗体抗原反応
4. 進化と生命現象
5. 地球の温暖化 エコロジカルフットプリント
6. 熱帯雨林の破壊 オゾン層の破壊
7. 酸性雨と森林破壊
8. さまざまな環境変異原 添加物と環境ホルモン
9. がん細胞の出現 人口化合物
10. 環境汚染と農薬
11. 環境汚染と合成洗剤
12. 近代農業と作物の品種改良
13. 作物の原種と品種改良 自家不和合性の進化
14. BSEの発現の仕組み
15. 環境ホルモンと私たちの生活
16. 試験および解説

成績評価の方法

レポートと期末試験で評価する

成績評価の基準

レポート 2回 各20点 生物の進化, 環境問題についてのレポート課題を課する

期末試験 1回 60点 1から4の達成目標を評価する

授業出席日数を7割以上のものだけを評価する

合計60点以上を合格とする。

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

積極的に授業に参加することを望む

教科書

授業内でその都度紹介する

参考書

講義において随時指示する。環境学など。

オフィスアワー

授業後の昼休み
1号館2階210

授業科目名	地域研究I(ドイツ) Area Studies 1 (Germany)	時間割番号	0307
担当教員名	武田 竜弥		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,KZ,ME,EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 火曜1-2限		

授業の目的・達成目標

1. 授業の目的

ドイツ語の基礎的な発音、文法、語彙、表現を段階的に学ぶことによって、実践的なドイツ語運用能力を身につける。

2. 達成目標

前期・後期(地域研究 I と II)を通じてドイツ語技能検定試験(独検)4級に合格できるだけの力をつける。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

1. 授業計画

第1回:ガイダンスとして、授業の進め方、学習方法、成績評価の方法と基準について説明する。

第2～3回:ドイツ語のアルファベットと発音の規則、簡単な挨拶、季節、月、曜日、数詞(1～10)について学ぶ。

第4～14回:動詞の現在人称変化、名詞の性と格変化、冠詞、人称代名詞、前置詞などについて学ぶ。

第15回:確認テストと解説

2. 授業の進め方

①通常の授業は、キーセンテンス、文法事項の説明、練習問題の順番で進めていく。

②このほか授業中に随時、復習と練習を兼ねた口頭質問をする。ほぼ毎時間当たるので、しっかり準備してくること。結果は平常点として加算する。

③必要に応じて小テストを実施する。

成績評価の方法

毎時間の授業(40%)とペーパーテスト(60%)によって評価する。但し、無届欠席3回以上で失格となる。

成績評価の基準

合計点を100点満点に換算し、以下の基準で評価する。

S: 100~90 A: 90~80 B: 80~70 C: 70~60 D: 60~0

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

1. この授業は、前期・後期の通年受講が原則である。
2. 毎時間必ず予習・復習をし、積極的な姿勢で授業に臨むこと。
3. わからないことがあれば、恥ずかしがらずにどんどん質問すること。
4. 独検(6月、11月)の受験を希望する学生に対しては積極的に対応する。

教科書

「ドイツ語 スパイラル」(高橋秀彰, 朝日出版社)

その他、独和辞典を用意すること。選び方については最初の回に説明する。

参考書

オフィスアワー

月曜日 12:10~13:00

授業科目名	地域研究I(アジア) Area Studies (Asia)	時間割番号	0330
担当教員名	磯部 美里		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,KZ,ME,EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 火曜1-2限		

授業の目的・達成目標

目的 本講義は、中国語の発音ならびに基本的な文法を習得し、中国語の実践的な会話能力を育成するとともに、中国語学習を通じて、中国の社会状況や文化に対する理解を深めることを目的としている。達成目標 中国語は主に漢民族が用いる言語で「漢語」とよばれるが、本講義で学ぶのは、中国語(「漢語」)方言の中の北京語が基になっている「普通話(共通語)」である。漢字を使用することから、中国語は日本人にとっては親しみやすい言語であるが、発音は大きく異なる。そのため、正しい発音を習得することが達成目標の一つである。発音をマスターした後、基本的な文法や日常会話文を学び、中国語で簡単なコミュニケーションがとれるようになることを目指す。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

1. オリエンテーション、発音練習①2. 発音練習②3. 発音練習③4. 発音練習④5. 第一課 大学のキャンパス(動詞“是”, 名前の言い方ほか)6. 第二課 北京の大通り(形容詞述語文ほか)7. 第三課 万里の長城へ行く(動詞述語文ほか)8. 復習, テスト19. 第四課 上海(助動詞“想”, ほか)10. 第五課 上海の夜景(主述述語文ほか)11. 第六課 公園①(連動文ほか)12. 第六課 公園②13. 第七課 軽食通り①(助詞”了”ほか)14. 第七課 軽食通り②15. 復習16. テスト2各課ごとに中国理解に役立つDVDを見る予定である。

成績評価の方法

(小テストを含む)ペーパーテスト8割, 授業態度, レポートを含む平常点2割で評価する。

成績評価の基準

達成目標を基準に評価する。

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

本文の暗唱や単語の暗記を課すので、真面目に取り組み、予習・復習をしっかりと行うこと。特別な事情を除き、すべて出席すること(欠席は大幅な減点となる)。

教科書

遠藤光暁監修, 衛裕群・汪曉京著『入門リアルタッチ中国』朝日出版社, 2012年

参考書

講義中に適宜紹介する。

オフィスアワー

授業後に対応します。

授業科目名	地域研究II(ドイツ) Area Studies 2 (Germany)	時間割番号	5308
担当教員名	武田 竜弥		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,EE,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	後期 木曜5-6限		

授業の目的・達成目標

1. 授業の目的

ドイツ語の基礎的な発音, 文法, 語彙, 表現を段階的に学ぶことによって, 実践的なドイツ語運用能力を身につける。

2. 達成目標

①前期・後期(地域研究 I と II)を通じてドイツ語技能検定試験(独検)4級に合格できるだけの力をつける。

②ドイツ社会について理解を深める。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

1. 授業計画

第1~2回: 前期の復習と確認。

第3~9回: 語法の助動詞, 分離動詞, 命令形, 接続詞, zu不定詞などについて学ぶ。ここまでが独検4級の範囲である。

第10~14回: 形容詞の格変化, 比較表現, 再帰代名詞, 動詞の三基本形, 過去形, 完了形などについて学ぶ。

第15回: 確認テストと解説

2. 授業の進め方

①通常の授業は、キーセンテンス, 文法事項の説明, 練習問題の順番で進めていく。

②このほか授業中に随時, 復習と練習を兼ねた口頭質問をする。ほぼ毎時間当たるので, しっかり準備してくる。結果は平常点として加算する。

③必要に応じて小テストを実施する。

④11月の独検に間に合わせるため, 2月の授業は10~11月に前倒して行なう。

成績評価の方法

毎時間の授業(40%)とペーパーテスト(60%)によって評価する。但し独検4級に合格した者には, 確認テストの免除を認める。無届欠席3回以上で失格となる。

成績評価の基準	
合計点を100点満点に換算し、以下の基準で評価する。 S: 100~90 A: 90~80 B: 80~70 C: 70~60 D: 60~0	
履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示	
<p>1. この授業は前期・後期の通年受講が原則であるが、前期の内容を身につけた学生については後期のみの受講を認める。</p> <p>2. 毎時間必ず予習・復習をし、積極的な姿勢で授業に臨むこと。</p> <p>3. わからないことがあれば、恥ずかしがらずにどんどん質問すること。</p> <p>4. 独検(6月、11月)の受験を希望する学生に対しては積極的に対応する。</p>	
教科書	
「ドイツ語 スパイラル」(高橋秀彰, 朝日出版社) 独和辞典	
参考書	
オフィスアワー	
月曜日 12:10~13:00	

授業科目名	地域研究II(アジア) Area Studies 2 (Asia)	時間割番号	5309
担当教員名	磯部 美里		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,EE,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	後期 木曜5-6限		
授業の目的・達成目標			
<p>目的 本講義は、基本的な文法を習得し、中国語の実践的な会話能力を育成するとともに、中国語学習を通じて、中国の社会状況や文化に対する理解を深めることを目的としている。達成目標 中国語は主に漢民族が用いる言語で「漢語」とよばれるが、本講義で学ぶのは、中国語(「漢語」)方言の中の北京語が基になっている「普通話(共通語)」である。漢字を使用することから、中国語は日本人にとっては親しみやすい言語であるが、発音は大きく異なる。そのため前期は発音を重点的に学んだが、本講義では基本的な文法の習得と会話力の向上を目指す。中国語検定四級合格レベルの力をつけることが達成目標である。</p> <p>関連する学習・教育到達目標: (C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)</p>			
授業計画			
<p>1. 第一課から第七課までの復習2. 第八課 月餅(前置詞“給”, 比較文ほか)3. 第九課 故宮の見学(経験を表す文, 結果補語ほか)4. 合同授業15. 第十課 四合院(助詞“着”, 可能補語ほか)6. 復習7. テスト18. 第十一課 春節の餃子(二重目的語ほか)9. 第十二課 伝統的民族音楽(助詞“了②”ほか)10. 復習11. 第十三課 結婚式に出る(助動詞“要”ほか)12. 第十四課 北京の交通(“把”構文ほか)13. 合同授業214. 第十五課 春節の市(使役文ほか)15. 復習16. テスト2各課ごとに中国理解に役立つDVDを見る。</p>			
成績評価の方法			
(小テストを含む)ペーパーテスト8割, 授業態度, レポートを含む平常点2割で評価する。			
成績評価の基準			
達成目標を基準に評価する。			
履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示			
本文の暗唱や単語の暗記を課すので、真面目に取り組み、予習・復習をしっかり行うこと。特別な事情を除き、すべて出席すること(欠席は大幅な減点となる)。『日本語日本社会』との合同授業を2回行う。本講義は、前期の『地域研究 I (アジア)』を履修した学生を対象とする。			
教科書			
遠藤光暁監修, 衛榕群・汪暁京著『入門リアルタッチ中国』朝日出版社, 2012年			
参考書			
講義中に適宜紹介する。			
オフィスアワー			
授業後に対応します。			

授業科目名	公共の哲学 Public Philosophy	時間割番号	0305
担当教員名	藤本 温		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,KZ,ME,EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 火曜1-2限		

オフィスアワー

火曜日 16:20~17:20

授業の目的・達成目標

目的:公共(公共性)ということ,そしてそれに密接に関わる自由,責任,国家という概念の分析と,具体的な問題の検討を通して,近年,注目されている「公共の哲学」について知見を習得することをめざす。
目標:各自,具体的事例を取り上げて,講義を踏まえて公共の問題についてレポートをまとめることができる。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し,技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

- ①イントロダクション(1)—講義の目的と目標
- ②イントロダクション(2)—公共とは,哲学とは,公共の哲学とは
- ③自由と責任(1)—自由意志の問題
- ④自由と責任(2)—決定論と両立論
- ⑤自由と責任(3)—理性の公的使用
- ⑥倫理・道徳の源泉(1)—倫理学の諸理論
- ⑦倫理・道徳の源泉(2)—徳の倫理学
- ⑧国家の役割
- ⑨企業と公共性(1)企業倫理—近年の傾向
- ⑩企業と公共性(2)事例分析
- ⑪科学と公共性(1)事例分析
- ⑫科学と公共性(2)リスクと社会
- ⑬科学と公共性(3)科学技術社会論(レポートは13回目の講義までに提出)
- ⑭レポートの発表と討論
- ⑮レポートの発表と討論,まとめ

成績評価の方法

ワークシートと小テスト(40点)とレポートおよび発表(60点)により総合的に評価する。

成績評価の基準

講義の目的の目標の到達度を基準とする。

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

本講義は,ものづくり経営基礎科目「工学倫理」に関連するものである。

教科書

毎回,ワークシートを配布する

参考書

山脇直司『公共哲学とは何か』ちくま新書,他は講義中に紹介する

授業科目名	環境と社会 Environment and Society	時間割番号	0320
担当教員名	大貫 徹		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,KZ,ME,EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 火曜3-4限		

授業の目的・達成目標

授業の目的:

私たちは「環境と社会」という言葉を聞いても何ら違和感を覚えな。それどころか私たちは「社会の急速な発展が環境破壊を引き起こす」とか「社会の持続的な発展こそが重要で、そうしたことを通じて、私たちは子供や孫の代までも環境を守らなければならない」というようなことをごく自然に思い浮かべる。

そのとき、私たちは「環境」と「社会」が対立概念であることを前提としている。もっと正確に言えば「環境」とは「自然環境」のことであり、「社会」とは「人間から構成される社会」のことであり、その結果、「自然」と「人間」とが対立するものと考えられている。しかし本当にそうだろうか。「自然」は「人間」に対立するものなのであろうか。

こうした問題提起は考えに値する。ここには、欧米人の自然観と、私たち日本人の自然観の問題、あるいは、そもそも「自然」という言葉は日本語として多義にわたるのだが、どうしてそのように多義にわたるのか等々、多くの問題が隠されている。

この授業では「日本人の自然観」に焦点を当てながら進めて行く。とりわけ「日本人の自然観」を少し大きな枠組み、たとえば歴史的、比較文化的、比較思想的な枠組みで考察しながら、「環境と社会」とりわけ21世紀における「環境と社会」について考えたい。もちろん、3年前の3月11日に発生した「東日本大震災」という大きな出来事についても触れながら、この問題を考える。

達成目標:

日本人の自然観を少し大きな枠組みで考えながら、「環境と社会」とりわけ21世紀における「環境と社会」について、自分なりの観点で、論じることができる。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

- ① 授業内容全体の概括的な説明
- ② DVD映写やデータを通して見た「東日本大震災」の姿
- ③ 歴史のはじまり—『旧約聖書』の最初と『古事記』の最初
- ④ 世界の成り立ち—「創造される世界」と「生成する世界」
- ⑤ 自然観の比較(1)—「ギリシャ神話の世界」と「キリスト教の世界」
- ⑥ 自然観の比較(2)—「老荘思想の世界」と「仏教思想の世界」
- ⑦ 自然観の比較(3)—「神仏の世界」
- ⑧ 自然観の比較(4)—「江戸から明治へ」
- ⑨ 日本の景観の代表例の紹介(1)
- ⑩ 日本の景観の代表例の紹介(2)

- ⑪ 日本の景観の代表例の紹介(3)
- ⑫ 日本の景観の代表例の紹介(4)
- ⑬ 現代日本の環境空間
- ⑭ 日本のあるべき環境空間
- ⑮ 期末試験
- ⑯ 試験の解説と補足

成績評価の方法

学期中に2回実施するレポートはそれぞれ15点満点とする。期末試験は70点満点とする。ただし期末試験で60%(42点)未満は不合格とする。

成績評価の基準

レポートにおいては、それまでの授業内容を理解しているかどうか、成績評価の基準である。期末試験においては、第1週から第14週までの授業内容全体に含まれる達成目標に達しているかどうか、成績評価の基準である。

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

- (1)履修するにあたっての要件は特にないが、指定の参考図書を読むなどして科目への意識を高めておくこと。この科目は、社会の仕組みを理解する上で必要であり、3年次では「ものづくり・経営基礎科目」を受講することが望ましい。
- (2)授業は講義形式で行う。そのため、授業には必ず出席し、そのつど講義メモを取ること。

教科書

随時必要なプリントを配付する

参考書

特になし

オフィスアワー

木曜日3/4時限

授業科目名	感性と社会 Kansei(イタリック) and Society	時間割番号	1306
担当教員名	武田 竜弥		
学科・年次	工学部第一部 2年次 DW,KZ,ME		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 月曜1-2限		

授業の目的・達成目標

1. 授業の目的

歴史や風土などさまざまな要因によって規定される社会とそこで生活する人々の感性との関わりを、具体的な素材を通して考えていく。今年度は「黒人音楽の社会史」と題して、アフリカ系アメリカ人の置かれてきた生活環境／アメリカ合衆国の社会状況と彼らが生み出した音楽との関係を歴史的にたどる。

2. 達成目標

- ①アフリカ系アメリカ人の歩んできた歴史を理解し、自分の言葉で説明することができる。
- ②アフリカ系アメリカ人の音楽の特徴とそれが生み出されてきた社会との関係を理解し、自分の言葉で説明することができる。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

第1回: ガイダンス

第2回: アメリカの黒人奴隷制度

第3回: 奴隷の生活と黒人霊歌の起源

第4回: 黒人霊歌の歌詞とその音楽的特徴

第5回: 南北戦争と奴隷制度の廃止

第6回: ミンストレル・ショーと黒人霊歌の「発見」

第7回: 奴隷制廃止後の黒人差別制度

第8回: ブルースの誕生

第9回: ブルースの歌詞とその音楽的特徴

第10回: 北部への大移動とブルースの都市化

第11回: ジャズの展開

第12回: ゴスペルの誕生

第13回: ロックンロールの時代—クロスオーバーの始まり

第14回: リズム & ブルースからソウルへ

第15回: 公民権運動と「自由の歌」

成績評価の方法

中間レポート(40%)と期末レポート(60%)によって評価する。但し、無届欠席3回以上で失格となる。

成績評価の基準

合計点を100点満点に換算し、以下の基準で評価する。

S: 100~90 A: 90~80 B: 80~70 C: 70~60 D: 60~0

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

インターネットを自由に使える環境にあることが望ましい。

教科書

プリントを用意する。

参考書

本田創造『アメリカ黒人の歴史』(岩波新書)
 ウェルズ恵子『黒人霊歌は生きている』(岩波書店)
 ジェームズ・M・バーダマン他『ロックを生んだアメリカ南部』(NHKブックス)

オフィスアワー

月曜日 12:10~13:00

授業科目名	生涯学習論 Lifelong Learning	時間割番号	5306
担当教員名	上原 直人		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,EE,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	後期 木曜5-6限		

授業の目的・達成目標

生涯学習とは、家庭教育、学校教育、社会教育を包括する理念である。人々は、学校外、あるいは学校教育を終えた後も、生活の向上、職業上の能力の向上、自己の充実等を目指し、様々な場において、学習活動を展開している。高学歴化が進行し、様々な社会課題が広がる現代社会において、生涯学習の重要性はますます高まっている。本講義では、大きく次の三つの柱をたてて、生涯学習についての理解を深める。①生涯学習の歴史と展開 学校制度の成立から、学校外教育の組織化という段階を経て、生涯学習という考え方がいかにして生まれてきたのかを学ぶ。生涯学習の理論についても取り上げる。②生涯学習の施設と実践 学校以外に、人々が学ぶ場としていかなるものがあるのかということについて、公民館、博物館、学校外の青少年教育、識字教育、地域づくりと生涯学習の実践などのテーマに即して学ぶ。視聴覚資料も活用する。③大学(院)卒業後に、社会人・職業人として生きていく上での学びについて考える。大人が学ぶ場所の多様性、労働者の職業能力開発などのテーマをとりあげる。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

①1～2週:授業の概要、進め方、方法についての説明。生涯学習の体系と理念につ【達成目標1:生涯学習の体系と理念について説明できる】②3週～6週:生涯学習の歴史と展開について学ぶ。【達成目標2:生涯学習という考え方がいかに成立し普及してきたのかを説明できる】③7週～11週:生涯学習の施設と実践について学ぶ。【達成目標3:生涯学習の施設や実践としてどのようなものがあり、またそれらがなぜ必要なのかを説明できる】④12週～15週:大人が学ぶことの意味を考える。【達成目標4:大人が学ぶ場の多様性や労働者の職業能力開発について説明できる】

成績評価の方法

期末試験と平常点で合計100点満点とする。欠席は5回まで認める

成績評価の基準

合計60点以上を合格とする。

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

(1)履修するにあたっての要件は特にないが、日頃から、生涯学習に関して、新聞等を通して、チェックしておくことを求める。(2)理解度を高めるために、多くの事例を授業の中で紹介する。

教科書

レジュメ、資料を配布するので、教科書は使用しない。

参考書

随時、紹介する。

オフィスアワー

木曜日の12時～13時。それ以外でも事前に相談があれば随時可能。

授業科目名	企業と社会 Enterprise and Society	時間割番号	0325
担当教員名	竹野 忠弘		
学科・年次	工学部第一部 1年次 DW,KZ,ME,EE,CS,AD,CM		
科目区分	リベラルアーツ	単位数	2
時間割	前期 火曜3-4限		

授業の目的・達成目標

「経営学概論」
経営とはなにかを はじめ、日常語・常識的な理解がされている経営に関する概念について、人文社会系の経営「学」というあらたな視角から用語や概念を学習することを目標とし、工学を事業活動に役立てるための複眼的な思考力を身につけることを目的とする。

関連する学習・教育到達目標:

(C) 技術者倫理(工学が自然及び社会に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理・責任感を自覚する)

授業計画

0. イントロダクション:経営とはなにか、経済と経営、経営学と経営工学

I. 経営戦略

- 1) 事業部構築と成長のベクトル
- 2) 事業部バスケット

II. 国際経営論

- 1) 国際製造活動
- 2) 海外子会社経営

III. 事業部経営

- 1) 事業部分析の手法
- 2) 競争戦略

IV. 中間試験:経営戦略論としての経営活動

V. 経営組織論

- 1) 組織管理略
- 2) 組織行動論

VI. 経営組織論

- 1) 組織構築論
- 2) 組織制度論

VII. 経営組織論

- 1) 人事労務組織
- 2) リーダーシップ・経営者論

VIII. 期末試験

成績評価の方法

講義への参加姿勢、期末小論文

成績評価の基準

講義への参加姿勢、期末小論文等のウェイトは受講状況を見ながら決める。

履修にあたっての注意事項および教室外における準備学習などの指示

名工大生として工学部の学生ながらも、「経営学」に関心があり、それを学ぶ意欲のある学生の受講をも

とめます。
私語や飲食、受験勉強、他の講義の勉強、読書など、ルールを守らない者は、退室ねがいます。
携帯電話や携帯機器はスイッチを切って、かばんのなかにしまうこと。

教科書

高橋伸夫編著『よくわかる経営管理』ミネルヴァ書房

参考書

講義時に適宜推薦します。

オフィスアワー

開講後に相談します。